

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

今月の事故



まだまだ、暑い日が続きますので、熱中症への予防対策をしっかりとね。

1. 事故の概要（就業中）＜熱中症により死亡＞

午前8時から会員2名で杉苗畑の除草作業を実施。休憩は9時半と10時半に15分程度。午前11時30分頃に一人の会員が飲み物が無くなったので、一緒に作業していた会員に飲み物を買ってくることを伝え、作業現場を離れた。その後、昼食等を済ませ作業現場に午後1時頃に到着。現場に残っていた会員を探したが見当たらず、作業をしていたら出てくるだろうと思い除草作業を進めていたら会員が倒れていた。水分摂取など十分に取れていたかは定かではないが、業務中に一人になる時間帯があり発見が遅れた。

2. 事故の原因

- (1) 事故発生当日の最高気温は約34度で、亡くなった会員は熱中症の危険性を認識していたと思われるが、水分補給等の予防策が不十分だった可能性が考えられる。
- (2) 会員2名での就業としていたが、長時間一人作業となったため、具合が悪くなった会員の救護を速やかにできなかった。

3. 事故後のセンターの対応及び再発防止策

【センター】

【事故後の対応】

事故発生後、直ちに会長、安全委員に連絡し状況等を報告し、全会員を対象に緊急説明会を実施した。

【再発防止策】

全体研修会を実施した。

全会員及び関係機関に事故の状況を説明し、再発防止策の周知、検討を行った。

【連合の再発防止策及びセンターへの指導】

今回の事故は二人作業を行っていた中での熱中症による死亡事故となったが、1名が飲み物購入と昼食を取って帰るまでの間で一人作業となった時に起きた事故であり、一人が離れる場合は確実に連絡を取り帰るまでは休憩をとるような対応を取るようお願いした。熱中症は症状が出たときは一人では何もできないケースがある。事故報告を受け7月8日（月）事故現場検証と事務局長に内容の確認を実施。

その後、加入センターに対して次の内容の注意喚起の事務連絡を発出した。

- (1) 熱中症の予防対策について（予防対策の点検実施、厚生労働省リーフレット周知）
- (2) 再発防止について

①熱中症に限らず、会員が災害等に遭った場合に直ぐに発見されにくい就業場所においては、会員の一人作業にならないようにする。（屋外・屋内問わず。）

②就業される会員に、複数で就業を行う理由と注意事項を説明する。

- ・理由 熱中症や事故を防止するために会員同士で注意を払い、万一異常が発生した場合に速やかに対応するため。
- ・注意事項 作業及び休憩は全員で一緒に行う等、他の会員が不在の中で一人だけで作業する状態を作らない。

4. 全シ協から

今月の事故は、熱中症によって尊い大事な命が失われてしまいました。この大事な命が再び失われないように徹底的な再発防止策が求められます。

まだまだ、猛暑が続くことが予想されます。上記3において連合の再発防止策及びセンターへの指導で掲載していただきましたとおり、会員さんの熱中症予防対策が確実に実施されているか今一度、ご確認をお願いいたします。

また、前述の再発防止策（赤字）にもあるとおり、熱中症に限らず、会員が災害等に遭った場合に直ぐに発見されにくい就業場所においては、会員が一人作業にならないようにしてください。（屋外・屋内問わず。）

さらに複数人の作業でもお互いが視認できる位置で作業をするようにしてください。

今月は、その他3件の重篤事故の報告がありました。そのうち2件については、剪定作業において3人で作業していたがお互い自分の作業をしていて気がつかなかった事故、清掃作業を一人で行い、池に過って転落し溺死してしまった事故でした。いずれも事故発生時、一人になってしまっています。事故の重篤化につながるリスクの軽減のためにもシルバー人材センターとして会員さんが安全、安心して就業できる環境を確立していただきますよう今一度、取組の現状（規程など）を再確認し対応をお願いいたします。